

67年間ありがとう！

平成28年度 河浦高校閉校記念体育祭



▲綱引きで接戦を繰り広げる河高生

5月14日、来年3月で67年間の歴史に幕を閉じる県立河浦高等学校で最後の体育祭が行われました。在校生31人のほか、卒業生や地元住民など120人も競技に参加。南軍と北軍に分かれ、徒競争や綱引き、玉入れなどで熱戦を繰り広げ、南軍が勝利をおさめました。生徒会長の中山愛子さんは「みんなで協力し、最高の思い出ができました」と話していました。

1日も早い復興を祈って

被災地の避難所で炊き出し支援



▲福連木里づくり振興会の炊き出し支援

4月の熊本地震で家屋の倒壊など大きな被害を受けた御船町の避難所となっている御船中学校体育館で5月1日、天草町の福連木里づくり振興会の会員など17人が、炊き出しの支援活動を行いました。

避難生活が続く被災者へ野菜がたくさん入った豚汁を食べてもらおうと実施したもので、約200食を振る舞いました。避難者は「久しぶりに温かく栄養のあるものをいただきました」と話していました。

絶対火遊びはしません！

荅陽幼稚園・倉岳保育園幼年消防クラブ入部式



▲宣誓をする園児たち

5月13日、倉岳町の荅陽幼稚園と倉岳保育園で「幼年消防クラブ入部式」が行われました。今年度はそれぞれの園に14人と41人が入部。荅陽幼稚園では、池崎莉彩さんと梅田優保くんが「絶対火遊びはしません。お父さん、お母さん、先生の教えを守ります。」と力強く防火の誓いを宣誓しました。両クラブは、火災予防運動期間中に防火パレードや街頭での防火啓発を行うなど、地域の火災予防に貢献しています。

水産業の振興を大学と一緒に考える

長崎大学水産学部と連携協定締結



▲握手を交わす中村市長と橘学部長

4月26日、市と長崎大学水産学部が水産業の振興や水産業を担う人材の育成に向けて連携協定を締結しました。同学部が自治体と連携協定を結ぶのは初めて。「水産学部がこれまで蓄積してきたノウハウを還元したい」と話す橘学部長。養殖魚の品質向上、新商品の共同研究、大学での研修や市民講座の開催など、協力関係が強化されることで、よりいっそうの水産業振興が見込まれます。

潮風を受け優雅に泳ぐこいのぼり

嵐口地区前島橋にこいのぼりを飾り付け



▲前島橋を訪れた家族連れ

御所浦町嵐口地区の有志13人が4月27日、家庭で使わなくなったこいのぼり51本を譲り受けて、同地区の前島橋に飾り付けを行いました。子どもたちを喜ばせるためや5月の大型連休の帰省客を晴れやかに迎えようとしているもので、今年で5回目。家族連れなど多くの方が訪れ、潮風を受けて優雅に泳ぐこいのぼりを眺めていました。

おいしいお米ができますように！

本渡東小学校田植え体験



▲田植えをする子どもたち

4月14日、下浦町の田んぼで本渡東小学校の4～6年生30人が田植えを体験しました。同町の天草農営組合（吉田勉代表理事・21人）が子どもたちに米づくりを知ってもらおうと耕作放棄地を利用し実施。子どもたちは田んぼに横一列になり、ぬかるみに足を取られながら1束1束ていねいに植えていました。今後は、消毒の見学や草刈り・稲刈り体験、収穫祭を実施する予定とのことです。

親睦を深めました！

牛深ライオンズクラブ旗争奪少年ソフトボール大会



▲熱戦を展開する子どもたち

5月1日、牛深ライオンズクラブ旗争奪少年ソフトボール大会が牛深グラウンドで開催され、市内の小学生9チーム・約140人が参加しました。同大会は、ソフトボールを通して、子どもの親睦を深めることを目的として開催。ファインプレーや豪快なホームランがでると、大きな歓声があがっていました。結果は、地元の鬼塚チームが優勝しました。

新鮮な海の幸がいっぱい！

二江はやさき市



▲ウニを手にする買い物客

5月3日、五和町の二江漁港で“二江はやさき市”が開催されました。地元の漁師を中心に組織された二江まちづくり振興会のマリン部会が、漁業の活性化を目的に開催。

当日は、二江漁港に水揚げされたウニやサザエ、タイなどの新鮮な海産物や赤飯、ガネ揚げなどの商品が並び、観光客や地元の買い物客がお目当ての品を買い求めていました。